

令和元年度 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	75.1 億円 (▲3.7)	固定負債	62.7 億円 (▲2.9)
土地	29.6 億円 (±0)	流動負債	10.1 億円 (+0.3)
建物	42.6 億円 (▲3.0)		
流動資産	24.5 億円 (▲4.4)	【純資産の部】	
現金及び預金	18.7 億円 (▲3.4)	資本金	24.9 億円 (±0)
		資本剰余金	50.1 億円 (+1.4)
		繰越欠損金	▲48.2 億円 (▲6.9)
計	99.6 億円 (▲8.1)	計	99.6 億円 (▲8.1)

(2) 損益計算書

令和元年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	42.2 億円 (▲2.2)
営業収益	41.5 億円 (▲1.9)
営業外収益	0.7 億円 (▲0.3)
費用総額	49.1 億円 (▲1.4)
営業費用	47.1 億円 (+0.6)
営業外費用	2.0 億円 (▲0.5)
臨時損失	0.0 億円 (▲1.5)
当期純損失	▲6.9 億円 (▲0.9)
当期総損失	▲6.9 億円 (▲0.9)

(3) キャッシュ・フロー計算書

令和元年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	▲2.1 億円 (▲0.8)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	2.9 億円 (+1.7)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1.1 億円 (▲0.5)
IV 資金増加額	▲0.4 億円 (+0.5)
V 資金期首残高	4.1 億円 (▲0.8)
VI 資金期末残高	3.7 億円 (▲0.4)

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	17.3 億円 (+1.4)
(1) 損益計算書上の費用	49.1 億円 (▲1.4)
(2) 自己収入等(控除)	▲31.7 億円 (+2.8)
II 機会費用	0.0 億円 (±0)
III 行政サービス実施コスト	17.4 億円 (+1.4)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ 各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和元年度純損失……………▲687,884千円 → ▲85,396千円(対前年度差額)
 (平成30年度純損失……………▲602,488千円)

- ・収益については、入院収益の減により、前年度比で約5%の減少となった。
- ・費用については、**材料費及び減価償却費の減**により、前年度比で約3%の減少となった。
- ・収支差については、約6.9億円の赤字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1/H30	参 考
収益		45.9	42.0	43.4	44.4	42.2	95%	診療単価 (H30) (R1)
	営業収益	40.3	41.3	42.7	43.4	41.5	96%	入院 38,742円 → 37,817円
	うち入院収益	20.7	21.9	22.8	22.4	20.0	89%	外来 11,746円 → 12,015円
	うち外来収益	10.0	9.7	9.9	10.3	10.0	97%	
	うち運営費負担金	7.9	8.0	8.2	9.1	9.6	105%	患者数 (H30) (R1)
	営業外収益	0.8	0.7	0.7	1.0	0.7	70%	入院 57,711人 → 52,959人
	うち運営費負担金	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	83%	外来 87,590人 → 83,519人
	臨時利益	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	-	
	費用	51.2	48.1	48.4	50.5	49.1	97%	一般病床利用率 (H30) (R1)
	営業費用	44.5	45.5	45.8	46.5	47.1	101%	76.8% → 70.2%
うち給与費	26.0	27.4	27.5	28.4	29.8	105%		
うち材料費	5.4	5.3	5.7	5.7	5.2	91%		
うち経費	8.0	7.7	7.6	7.6	7.9	104%		
うち減価償却費	4.9	4.9	4.8	4.7	4.1	87%		
営業外費用	3.0	2.7	2.6	2.5	2.0	80%		
うち支払利息	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	90%		
うち控除対象外消費税償却	1.9	1.6	1.6	1.5	1.1	73%		
臨時損失	3.8	0.0	0.0	1.5	0.0	-		
収支差	▲5.3	▲6.1	▲5.0	▲6.0	▲6.9	-		

※各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (2.3億円減) 患者数の減少によるもの
 うち外来収益 (0.3億円減) 患者数の減少によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (1.4億円増) 職員の増加によるもの